

福音の園だより

【第十四号 二〇〇六年二月 七日発行】

350・0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一

特定非営利活動法人 福音の園・埼玉 事務局

☎ 049・230・1111

FAX 049・230・1112

福音の園では「健康と安全のため、

全館禁煙となっております」

グループホーム福音の園・川越 ホーム長 杉澤 卓巳

先月、一月八日未明、長崎県大村市のグループホーム全焼ニュースには、ご家族様はじめ関係者の皆様に「福音の園は大丈夫なのか？」というご心配をおかけいたしました。「老人施設、防災に課題」「ケアの質ばかりを考え、防災は二の次」という新聞紙面活字にホーム管理者として心痛めつつ、当園の取り組みや現状を開示いたします。「防災」もまたケアの質の一つ

二年前、開園準備中「健康と安全のため、全館禁煙となっております」の一文を入れたパンフレットを作成して入居者募集を行なった。勇気の伴う決断だったが、禁煙もまた大切なサービスの一つだと自負していたからだ。パンフレットを持参しての「営業」中、市内のある老人施設玄関に貼り出された「本年四月より館内禁煙となっておりますのでご協力お願いします」に勇気付けられた。かつて特養ホーム在職中、川越市消防本部を何度も往復した。担当課消防署員を通して、当時まだ

記憶に新しくなった東村山市の特養ホーム「松寿園」入居者十七名焼死火災の生々しい現場写真を提示されての防災教育・防災訓練を繰り返したのだった。積み重ねてきた危機意識から「防災」を抜きにしたケアの質の向上は考えられない。

「宿直室」を設置せずに夜間帯対応

全焼した前述のグループホームは、新聞紙面に掲載された建物平面見取図から「宿直室」が設けられていたが当園にはない。夜勤者は夜十時少し前に出勤してから翌朝七時、早出者が出勤して来るまでの時間帯、眠らずに夜間対応している。

外部評価項目や埼玉県報告書などでは「四交代」勤務時間を想定した記入欄のみであるのに対し、当園では「五交代」勤務体制である。理由は夜勤者の心身の負担を最小限にしたいためである。

「安心」と「安全」は切り離せない大切なケアの質であると自覚して取り組んでおります。皆様のご意見やご提案をお待ちしております。

ご家族の声

あの頃の母に会えたなとほっとして

母は、昔から良く働く努力家で休みを知らない人でした。そのしつかり者の母がグループホームの方達にお世話になる事が私には理解できませんでした。失礼ですが無縁だと：グループホームにお世話になる時、母は「働きに行く事に決めたヨ」と、私達姉妹は「よかったねえ いい職場が見つかった」と小さな励ましを母にしました。実家にいる時も、グループホームにいる時も母の声と笑顔を見に会いに行くのが好きでした。よく母は呼び捨てではなく「えっちゃん」と呼んでくれました。最初の頃はまだ呼んでくれましたがも

う今はその声も聞けません。確かに嫁いでも入居してからも私は自分の生活を守る事で一杯でなかなか会いに行けませんでした。今となっては仕方がないとは思いますが、やはり淋しいです。でも面会に行つて元氣のない顔を見るよりも、行つてあの笑顔が見れるだけでも母に会いに来た、あの頃の母に会えたなとほっとして帰る事が出来るのです。だからいつまでもいつまでも元氣で笑顔を忘れないでいて欲しいと思います。

(E・O)

協力団体の声

初級園芸福祉士活動事例発表会に参加して

NPO法人 土と風の舎 副代表理事 渋谷 雅史

一月二八日、杉澤ホーム長さんの故郷でもある新潟県で開催された初級園芸福祉士活動事例発表会で、『癒しの園芸療法』の活動事例を発表して参りました。初級園芸福祉士二〇名、同資格取得を目指す六〇名ほどの皆さんに発表しました。「毎回楽しく工夫されていて、とても素敵な活動ですね」「私の勤務するグループホームでも是非取り入れたいです」「NPOの委託関係による活動を私たちも目指したいです」「見学にお伺いしたいです」など、多くの方からご意見・ご感想をいただきました。一部ですが、ご紹介させていただきます。

お便り紹介

前略。ご多忙中、施設案内を送付いただき、ありがとうございます。利用者の気持ちに添うよう努力されている様子が「たより」から伝わってまいりました。これからも明るいホームを目指して下さい。かしこ(T・K)